

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 105-8419
 住 所 東京都港区西新橋一丁目14番1号
 氏 名 東亜合成株式会社
 代表取締役 高村 美己志
 (代理人) 川崎工場長 守谷 聡
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東亜合成株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区浮島町7-4		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	ポリ塩化ビニル製造、特殊アクリレート製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	10,784	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

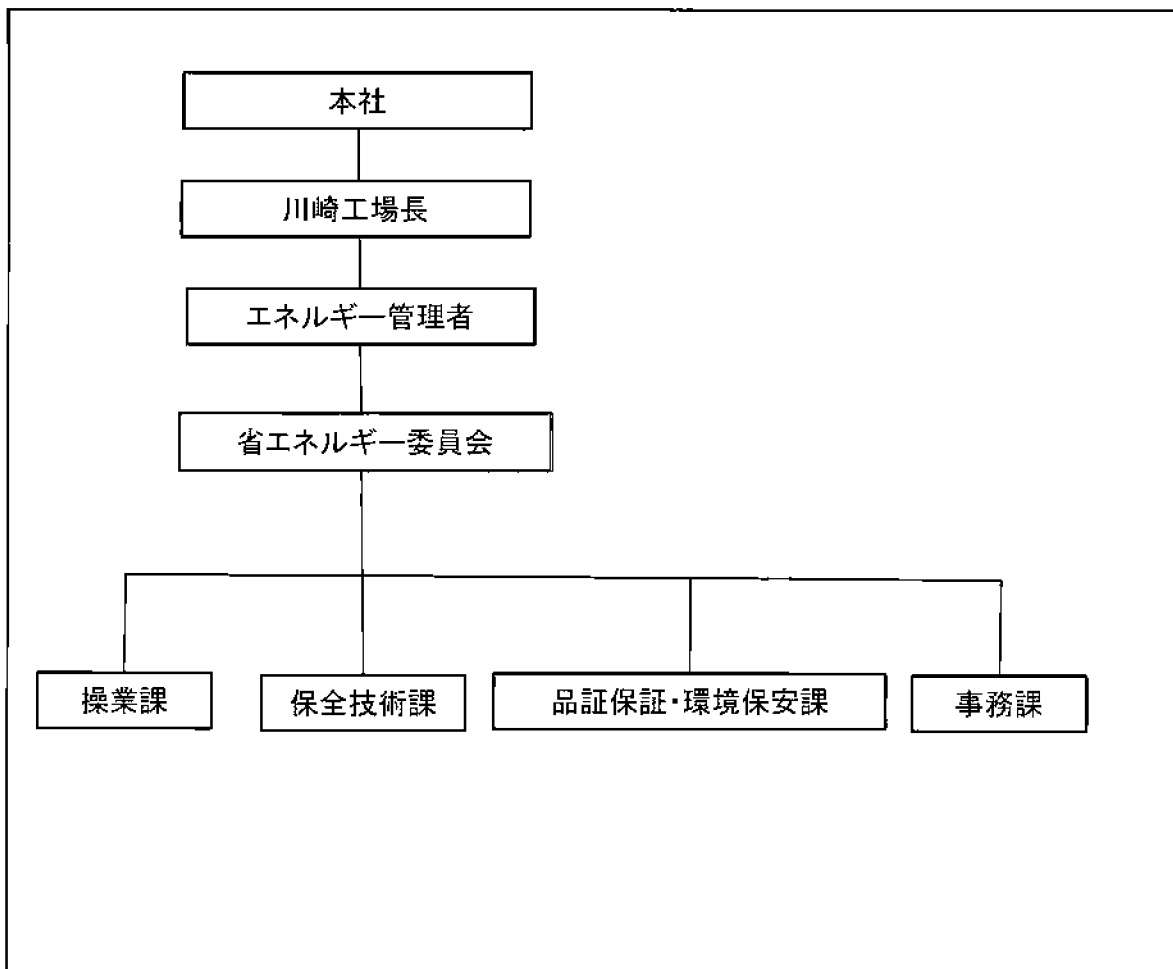
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

エネルギー原単位対前年比99%以下とする。
毎年想定排出量から1.0%相当を削減する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

省エネルギー委員会を定期的開催し、省エネルギーの実施状況を管理する

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	22,447		(実)		
	(調)	22,151	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	25,147		(実)		
	(調)	24,819	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量	(実)	-2,700	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	-2,700 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率	(実)	-12.0	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		生産量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /千ton			
基 準 年 度 の 値		271.9			
目 標 年 度 の 値		263.8			
削 減 率		3.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

基準年度2018年は、ポリ塩化ビニル(PVC)製造装置(重合缶)更新工事のため、6/4~8/18の間、生産を休止しました。2019年の生産量は97.5ktの見込みで、基準年度生産量77.9ktと比較して、25%増加予定です。特殊7リット樹脂(ATBS)につきましても、増産予定です。
 目標排出量は2019年予算から1%削減した値26,302t(電力排出係数0.5)を、電力排出係数を基準年の排出係数(実0.475、調0.462)で再計算し、この値を毎年1%削減する目標とした。
 原単位目標は、基準年の値を毎年1%削減する目標とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

2019年東亜合成全社CO₂排出量：350kt以下（2030年CO₂排出量目標（304.2kt：COP21で決定された2013年排出量の26%減）、及び2018年度排出量（354.4kt）より、2030年まで直線的に減少させるとして目標算出）。
 Eネギ-原単位対前年比：99%以下

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	①受電用変圧器更新によるトランスロス削減 ②揺動式空気圧縮機の更新による電力削減 ③スラリー塔の運転条件変更によるスチーム削減 ④LED、プラズマ等高効率灯の採用 ⑤冷水ポンプインバータ化
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

*ポリ塩化ビニル製造装置(PVC重合缶)を平成30年に更新。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策検討を継続する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	22,447	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

10,784	KL
--------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等单位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
東亜合成株式会社	川崎市川崎区浮島町7-4	22,447 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂